



6月1日より院外処方箋の全面発行が始まります

5月9日付のお知らせでありましたように、6月1日より外来患者への院外処方箋全面発行(実質95%)がスタートします。医師をはじめとする関係スタッフの皆様には、すでに多くのご協力をいただき感謝致します。なお、Q&A集は定期的に改訂する予定ですので、良く目を通していただければ幸いです。また、どこの薬局に行けばよいかわからないなど、薬局に関することは、外来1階ロビーのFAXコーナーで相談するように御指導ください。引き続きご協力の程をお願い致します。

長期実務実習が始まりました

5月16日(月)から7月29日(金)まで、薬学部5年生を対象とした長期実務実習(男性2名、女性2名)を行っています。医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師を目指して頑張っています。服薬指導等で病棟を訪れる機会もありますので、その節はよろしくお願ひします。

ブロアクト静注用1g欠品のお知らせ

ブロアクト静注用1gは、製造委託している海外製造所の生産設備において問題が発生し、バッチ(ある期間内に一連の工程により均質性を有するように製造された製品の一群)の均質性を見るための試験が不適合となったことから、安定供給の継続が困難となり、一定期間の欠品が避けられない状況です。在庫が無くなり次第、オーダ削除となる予定です。他の薬剤による代替治療をご検討下さい。

セファランチン注供給再開のお知らせ

薬剤部だより No. 245、246 でお知らせしたように、セファランチン注は、定期的安定性試験において不溶性異物が認められたため、一時出荷停止となっていました。2011年6月1日より供給再開となります。現時点では長期安定性等のデータが不足していることから、使用期限が従来の3年から1年に変更されました。6月1日よりオーダ再開予定です。



院内副作用報告

★2011年3、4月に報告された副作用

医薬品	副作用名
リリカカプセル 75mg	肝機能異常
ノボリンR フレックスペン、レベミル注フレックスペン	低血糖昏睡
フィニバックス点滴用 0.25g	間質性肺炎

包装、貯法、使用期限等変更のお知らせ



★アイトロール錠 20mg(一般名:一硝酸イソソルビド)＜狭心症治療剤＞

	変更前		変更後
PTPシート デザイン		→	 PTPシート表面に「狭心症治療薬」を表示

★ネシーナ錠 25mg(一般名:アログリプチン安息香酸塩)＜選択的 DPP-4 阻害剤＞

	変更前		変更後
PTPシート デザイン		→	 PTPシート表面に「糖尿病用薬」を表示

★デスモプレシン・スプレー2.5、10 協和(一般名:デスモプレシン酢酸塩水和物)＜抗利尿ホルモン剤＞

	変更前		変更後
ノズル先端部分 の形状		→	

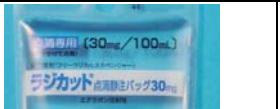
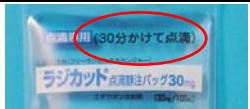
★デスモプレシン・スプレー10 協和(一般名:デスモプレシン酢酸塩水和物)＜抗利尿ホルモン剤＞

	変更前		変更後
貯法	凍結を避けて 10℃以下に保存	→	室温保存
使用期限	3年	→	2年
添加物	日局クロブタノール、日局塩化ナトリウム、pH調整剤	→	ベンザルコニウム塩化物液、日局塩化ナトリウム、日局ケン酸水和物、リン酸水素二ナトリウム二水和物
pH	3.5～5.0	→	4.8～5.2

★PA・ヨード点眼・洗眼液(一般名:ヨウ素・ポリビニルアルコール)＜洗眼殺菌剤＞

	変更前		変更後
有効期限	1年6ヵ月	→	2年
容器(中栓)	 押し込み中栓	→	 キャップ一体型中栓
個装箱	 横置き型 W187×D70×H38	→	 縦置き型 W170×D36×H79

★ラジカット点滴静注バッグ 30mg(一般名:エダラボン)＜脳保護剤＞

	変更前		変更後
バッグ表示		→	 「30分かけて点滴」表示を大きく

★スペニールディスポ関節注 25mg(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム)＜関節機能改善剤＞

	変更前		変更後
一般の名称	ヒアルロン酸ナトリウム	→	精製ヒアルロン酸ナトリウム

★アクテムラ点滴静注用 80mg,200mg,400mg(一般名:トシリズマブ(遺伝子組換え))

＜ヒト化抗ヒ IL-6 レセプターモノクローナル抗体＞

	変更前		変更後
使用期限	2年	→	2年6ヵ月

投薬期間制限解除のお知らせ

★エクア錠 50mg(一般名:ビルダグリプチン)＜選択的 DPP-4 阻害剤＞

★サインバルタカプセル 20mg,30mg(一般名:デュロキセチン塩酸塩)＜セロニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤＞

※薬価収載から1年が経過したため、2011年5月1日より投薬期間制限(1回14日)解除

用法及び用量の改訂のお知らせ

★フィニバックス点滴用 0.25g(一般名:ドリペネム水和物)＜カルバペネム系抗生物質＞

【用法・用量】30分以上かけて点滴静注。重症・難治性感染症には1回0.5gを1日3回。1回量1.0g、1日量3.0gまで投与可。

公知申請を受けた医薬品の適応外使用について

一般名(販売名)	新たに保険適用が認められた適応
シクロホスファミド水和物 (エントキサン錠 50mg)	ネフローゼ症候群(副腎皮質ホルモン剤による適切な治療を行っても十分な効果がみられない場合に限る)
ミコフェノール酸モフェチル (セルセプトカプセル 250mg)	腎移植における拒絶反応の抑制〔小児適応の追加〕
メチラポン (メトピロンカプセル 250mg)	クッシング症候群
イマチニブメシル酸塩 (ゲリベック錠 100mg)	FIP1L1-PDGFR α 陽性の右記疾患(好酸球増多症候群、慢性好酸球性白血病)
オクトレチド酢酸塩 (サントスタチン LAR 筋注用 10・20・30mg)	消化管神経内分泌腫瘍
カルボプラチン (パラプラチン注射液 50・150・450mg)	乳癌
トラスツスマブ(遺伝子組換え) (ハーセプチン注射用 60, 150)	・HER2 過剰発現が確認された乳癌における術前補助化学療法 ・HER2 過剰発現が確認された転移性乳癌〔用法・用量の変更〕
フルコナゾール (シフルカンカプセル 50・100mg、 静注液 50・100・200mg)	・カンジダ属及びクリプトコッカス属による感染症(真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎)〔小児適応の追加〕 ・造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防

医薬品医療機器情報提供ホームページ (http://www.info.pmda.go.jp/kouchishinsei/kouchishinsei_index.html)、厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/topics/110202-01.html>) で確認可能。

☆Drug Safety Update No. 199 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
フルダラビリン酸エステル （フルダラ錠、静注用）	<p>※重要な基本的注意： B 型肝炎ウイルスキャリアの患者で、本剤投与により、肝炎の増悪又は劇症肝炎を認めることあり、治療期間中及び終了後は継続して肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B 型肝炎ウイルス増殖の徴候や症状の発現に注意。異常が認められた場合には投与中止、直ちに抗ウイルス剤投与など適切な処置。投与開始前に HBs 抗原陰性の患者において、B 型肝炎ウイルスによる肝炎を発症した症例が報告されている。</p> <p>※重大な副作用： <ul style="list-style-type: none"> ・重症日和見感染…B 型肝炎ウイルスによる肝炎の増悪又は劇症肝炎を認めることがある。 ・進行性多巣性白質脳症 (PML) …治療期間中及び終了後は患者の状態を十分観察、意識障害、認知障害、麻痺症状（片麻痺、四肢麻痺）、言語障害等の症状があらわれた場合、MRI による画像診断及び脳脊髄液検査を行うとともに、投与中止、適切な処置。 </p>
ミプロラチン水和物（ミプロラ動注用） ヨート化ケン油脂肪酸エチルエステル（ミプロラ用懸濁用液） （ミプロラ用懸濁用液）	<p>※重大な副作用： <ul style="list-style-type: none"> ・間質性肺炎…発熱、咳嗽、呼吸困難等の臨床症状を十分観察、異常が認められた場合、胸部 X 線、胸部 CT、血清マーカー等の検査を実施。間質性肺炎が疑われた場合、副腎皮質ホルモン剤投与等の適切な処置。 ・急性腎不全…重篤な腎障害があらわれることがある、十分観察、BUN、血清クレアチニン値等の異常が認められた場合には、適切な処置。 </p>
ヨート化ケン油脂肪酸エチルエステル（ミプロラ用懸濁用液） （ミプロラ用懸濁用液）	<p>※重大な副作用： 間質性肺炎、急性腎不全…ミプロラチンを懸濁した液の投与により、あらわれることがある。</p>
オロパタゾン塩酸塩（経口剤） （アレロック錠）	<p>※重大な副作用：劇症肝炎</p>
ケチフェンマル酸塩（経口剤） （ザンテトライシロップ）	<p>※禁忌：てんかん又はその既往歴 ※慎重投与：てんかんを除く痙攣性疾患、又はこれら既往歴</p>

Drug Safety Update No. 199 の最重要、重要の情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) で確認可能。